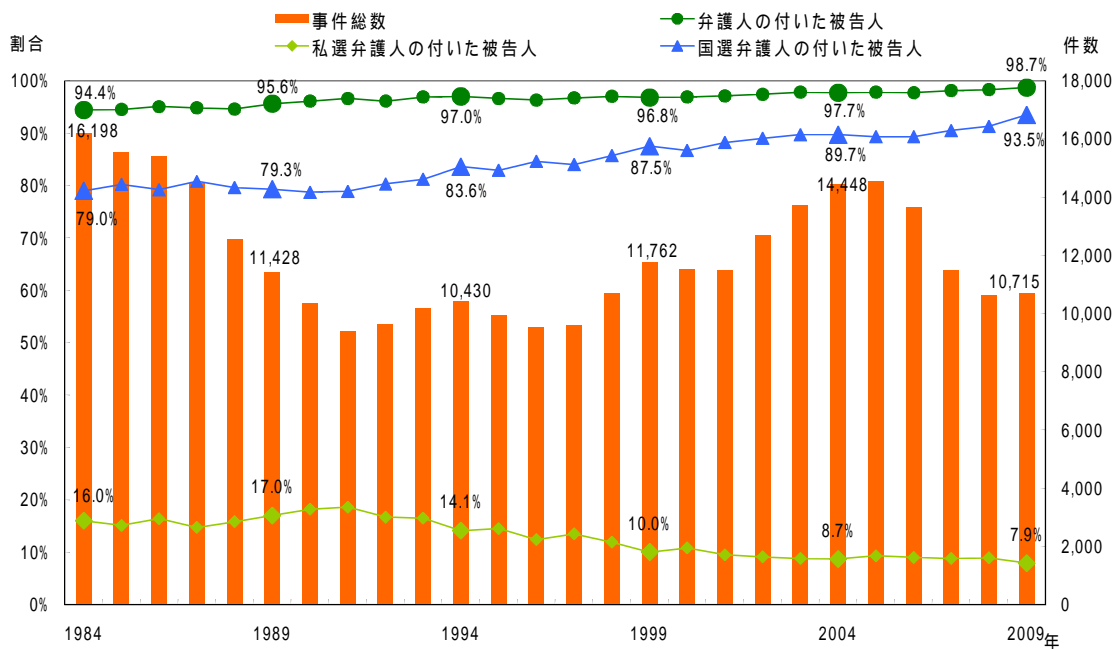


3 簡易裁判所における刑事辩护人(被告人段階)選任率の推移(国選・私選別)

簡易裁判所の刑事事件は、事件総数としては2000年以降増加傾向にあったが、近年減少してきている。100%近いケースに辩护人が付いているが、圧倒的に国選辩护人が多い。

下段表は、被疑者段階から辩护人が付いた被告人の状況をまとめたものである。簡易裁判所においても、被疑者段階からの辩护人選任率は高くなっている。



簡易裁判所における刑事辩护人選任状況(被疑者段階から)

年	事件総数	被疑者段階から 辩护人の付いた被告人数		辩护人選任状況(被疑者段階から)			
		件数	割合	私選辩护人の 付いた被告人		国選辩护人の 付いた被告人	
				件数	割合	件数	割合
2007	11,482	992	8.6%	465	4.0%	419	3.6%
2008	10,632	686	6.5%	495	4.7%	63	0.6%
2009	10,715	3,660	34.2%	531	5.0%	2,974	27.8%

【注】数値は、『司法統計年報(刑事編)』「通常第一審事件の終局総人員 - 弁護関係別 - 地方裁判所管内全簡易裁判所別」によるもの。